

シーズン100万人が訪れる スノーリゾートの感染防止対策

郡上市は10のスキー場がある西日本最大級のスノーリゾートで、シーズン中に100万人以上が訪れています。徹底した感染防止対策で、コロナ感染「ゼロ」を達成したスキー場の取組みについて紹介します。

新型コロナ感染防止対策 事例紹介協カスキー場

○中部スノーアライアンス株式会社のスキー場

・中部スノーアライアンスは、岐阜県郡上市高鷲町のTAKASU MOUNTAINSのスキー場「高鷲スノーパーク」「ダイナランド」「ひるがの高原スキー場」を運営しています。Withコロナ時代であることを認識し、お客様やスタッフが感染しない、させない環境を徹底されています。



高鷲スノーパーク



ダイナランド



ひるがの高原
スキー場

中部スノーアライアンス株式会社が運営するTAKASU MOUNTAINSのスキー場「高鷲スノーパーク」「ダイナランド」「ひるがの高原スキー場」そして、ダイナランドに隣接する「ホテルヴィラ・モンサン」は、コロナウイルス感染防止対策を徹底し、お客様が安心安全にスキー、スノーボード、雪遊びをお楽しみいただける環境を提供するため、日本鋼索交通協会が提唱する「索道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に沿って運営を行い、館内施設は岐阜県が推奨する「岐阜県新型コロナウイルス感染症に関する情報『【事業者の皆さまへ】事業活動再開等に伴う感染防止対策』」に沿って運営してきました。Withコロナ時代であることを認識し、お客様やスタッフが感染しない、させない環境を徹底されてきました。

■ WITHコロナ時代のスキー場における感染防止対策

スキー場は屋外施設でありながらも密になる場面もあります。中部スノーアライアンスではそういった状況を把握しつつ対策を行い、お客様にも注意喚起を行い感染防止対策行っていただくよう依頼し、存分に大自然を楽しんでいただける場所を提供しています。以下が具体的な対策内容です。

《ゴンドラ、リフト》

- ・ゴンドラ搬器の消毒の徹底
- ・ゴンドラ乗車人数の制限（定員を10名に制限いたします）
- ・ゴンドラ、リフトの乗車中のフェイスマスクまたはマスク、グローブの着用を協力依頼



ゴンドラ機器内の消毒風景

《リフトチケット販売》

- ・事前販売リフト券の大半を使い捨てICカード（お帰りの際に回収）に切り替えます。券売所に立ち寄らず、直接リフト乗車が可能なチケットに変更。
- ・オンラインチケット販売を推奨し、券売所に立ち寄らない自動発券システムを推奨し、券売所の密を防ぐ
- ・オンラインチケット販売のチケットナンバー入力によるリフトゲートダイレクトイン機能を推奨し、手持ちのICカードで直接リフト乗車が可能にする
- ・チケット購入窓口には消毒液を設置する。
- ・チケットカウンターにはアクリル板を設置し感染防止対策を実施。



無人のリフト券自動発券システム

《館内施設・レストラン・レンタル》

- ・建物内の各所にお客様用の消毒用アルコールを設置
- ・レストランでは屋内席数の制限を実施。合わせて屋外席を設置し、テイクアウト商品を提供することで混雑緩和を実施
- ・レンタルコーナーではウエアを中心としたレンタル用品の日々の消毒を徹底
- ・高鷲スノーパークレンタルでは、事前予約&決済システムを導入しキャッシュレス化を促進し混雑緩和を実施
- ・独自の放送機能であるDJブースを通じてソーシャルディスタンスの意識、マスクの着用、手洗い消毒の啓蒙を行う
- ・館内の換気を徹底し、空気の入替えを定期的に行う



レンタルウェアの消毒風景

《従業員の感染防止対策》

- ・朝晩の検温と報告の徹底
- ・日常の手洗い、消毒とうがいの徹底
- ・お客様の前では常時マスクを着用、日常でもマスクの着用を推奨
- ・日ごろ密集、密接した大勢での会食は避けること
- ・移さない、移されないの気持ちを常に持つことの意識を徹底



従業員の検温風景

コロナ感染防止対策については、今後も状況を注視し、政府、自治体、業界団体が指定するガイドラインに沿った事業運営を行い、お客様が安心してお過ごしいただけるように努めていかれるとのことです。

また、ホームページでは、お客様への対策のお願いも周知してまいります。その他、場内ではDJブースからの館内放送を活用して感染防止対策を徹底されます。